

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障害児通所支援ハーティKids

公表日 2025年2月18日

利用児童数 39人

回収数 34人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	3		1	実際に行っているところを見ていないためわからないにしました。	安全面に配慮したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	1			中に入って見ていないが、1～2人の時間帯の為にに対しては揃っていると思います	基準人員+1名を最低人数としてしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	1			個別	車いすやバギーでもスムーズに入室できるようになっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33			1	個別支援になっているので集中して活動出来ていると思います。	個々に集中しやすい環境設定を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31			3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33			1	子どもの苦手なところを色々工夫して療育してくれています。支援計画を立てる時に相談して必要なことを取り入れてくれている。	保護者からヒアリング、日々の悩みなども伺いながら支援計画を作成していきま
	8 放課後等デイサービス計画には、「放課後等デイサービスガイドライン」の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1		2	困ったこと、悩んでいることなどでとて親身になって考えてくださりありがとうございます。「もっとこうしたい方がいい」ということも教えてくださり心強いです。	いつでも相談しやすい環境をせっ
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	3		1	・子どもの特性にもよりますが、半固定化の様な感じはします。・子どもがきてしまわないようにバランスよく身体を動かす活動と机上課題を組んでくれています。	個々にプログラムを作成していきま
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	2	9	16	個別なのでほぼありません	個別支援なので他事業所との交流時間を確保することができていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1		1	形式的な説明はある	契約時にも詳しくご説明させていただ
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	1			細かく記入はされていますが、「示しながら」とはいえるかどうか判断しにくい。	個別支援計画を保護者と一緒に確認しながら、具体的な支援内容を伝えながら行っています。物品なども提示するようにします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	4	16		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	33		1		・共通理解ができていないことがあると思われる。・日々の通所の送迎時に学校や家での様子を気にかけてくれています。	利用時の様子は具体的に伝え、学校やおうちで変わったことがないか毎回確認するようにします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32		1	1	・やった内容の報告のみとなっている。・相談にもよるのってくださって	半年に一度は必ずモニタリングを通して相談を行います。また必要に応じて相談を行えるようにしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	11	17	個別なので	個別に必要な保護者同士の交流の機会を設けています。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1		2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33			1	そのような形ではないがこちらが相談したらそれに対しては対応してくれていると思う。	必要な場面で必要な相談業務が行えるようになっています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	6	2	13		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	1	9	聞いたことが無い	契約時や必要時にお伝えするようにしています。必要な項目をわかりやすく掲示できる場所を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	1	14	聞いたことが無い	週1回から月1回の利用者もいるので全員で実施することは出来ませんが、職員の動きの確認を周知できるように今後も務めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29		1	4	聞いたことが無い	事業所内に危険な物がないか定期的に確認しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26			8		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34				子どもにとって楽しい場所と認識しているので毎週の通所を楽しみにしています。毎回楽しみに通っています。	楽しみながら成長をうながせるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34				子どもの成長によって内容を変えたり、私の意見も取り入れてくれ安心しています。大満足です。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援ハーティKids		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 15日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 15日		～ 令和6年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応をしている	個々の状態に合わせ、カリキュラムを決めて活動している。主担当を決めて実施している。集団では気が付かないところを個別にすることによって、強みを生かし、苦手なところを伸ばせウように取り組みをしている。	各専門分野がそれぞれの苦手な部分を補い、より専門的な支援ができるように情報の共有を行うようにしていきます。
2	相談しやすい	保護者だけではなく、相談員や職員が常に誰かに相談できる環境づくりにつとめている。	保護者の相談ごとに真摯に向きあえる人が多い。どの職員でもしっかりと話を聞いて対応ができるようにする。
3	専門職が充実している	保育士、理学療法士、言語聴覚士がタッグを組んで利用者にとって必要な支援のアプローチを様々な分野からみて対応することができている。	それぞれの専門職が、さらに専門性を高められるように研修等を受講できるようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎をしていない	送迎をしていないため、送迎がないと利用ができない人がいる	人員の確保も必要な為、対応が難しい。
2	利用時間が短い	個別支援をしているので、短時間で集中的に支援を行う。その為、一人当たりの利用時間は1時間以下となっている。	専門性とそれぞれ個別で対応するための場所に限りがあるため、現状以上の人数を受け入れることが難しい。
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	障害児通所支援ハーティKids				公表日	令和7年 2月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		機能訓練室がスタッフスペースからみわたせる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		道具を一か所にかためて置いている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		終わるたびに使った道具、床を消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別のスペースはないがパーティションをする等工夫して他者との隔てた環境を作っている。パーティションを使って集中、クールダウンできるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		送迎の際に保護者と話す機会がある	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員間の情報交換は頻回。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	わかりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		それぞれの専門分野の担当者が職員に対し研修を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		面談のみならず、担当職員が保護者の要望を聞く→共有ができています。管理者が計画書の最終評価を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	アセスメント表を制作する	現状の物が使いにくいようであれば、チェックで評価できるものを検討していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		管理者が最終チェックをしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	立案は担当がするが、必要に応じて相談するなど柔軟にできている。情報共有している	チームと言えるほどのスタッフがいないため、全員で検討を行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	基本は個別だが状況に応じ子どもたちにプラスになると判断した場合は合同である。	集団活動は行っていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	個別療育だから。	非常勤同士だと打ち合わせが出来ていないことがあるので、引継ぎを徹底できるように共有ファイルを活用しやすいように検討していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		カルテ記入の際に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者と担当者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	必要なケースが今のところなかった	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	わかりません、無回答2	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	わかりません、無回答1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		利用者の対応中の状態や行った内容を保護者に報告をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		個別に研修の機会を設けているが、浸透できていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		児発管が保護者に説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		対面や、電話などで対応をしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4		管理者が行っていることが見えていないので、共有できるようにしていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		カルテ庫は施錠管理されている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	食事提供なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットがあればすぐに情報共有が行われる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		勉強会への参加	今後も研修する機会を設定していきます
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		勉強会への参加	今後も研修する機会を設定していきます	